



〔概要版〕

沖縄県スポーツ推進計画

沖 縄 県

I 計画策定の意義

本計画は、県民の誰もがそれぞれの体力や年齢、技術、興味・目的に応じて、いつでも、どこでも、いつまでも安全にスポーツに親しみ、楽しむことができる生涯スポーツ社会の実現を図るとともに、将来、オリンピック等の国際舞台で活躍できる子どもたちを育成、強化し、県民に夢、希望、勇気及び感動をもたらす人材を輩出して沖縄県の知名度やプレゼンスの向上を図るものです。

また、「沖縄 21 世紀ビジョン」に基づいてスポーツを振興することは、スポーツを楽しむための多様なモノ、場、サービスを供給するスポーツ産業の拡がりと共に伴う雇用創出等の経済的効果を生み出すほか、健康の維持・増進による介護・医療費の節減や地域コミュニティの再生等社会的効果を生み出す側面も有しています。

さらに、本計画に基づく大規模な国際競技大会等の開催は、安全性や利便性の高い都市への転換の契機となるとともに、沖縄のイメージや知名度を上げるプロモーションの場や機会ともなり、国内外からのスポーツ・ツーリズム等の観光客の増大にも寄与することにもなります。

II 計画の性格

本計画は、第1に、「沖縄21世紀ビジョン基本計画」のスポーツ分野における沖縄のあるべき将来像の実現を図る取組の基本的方向をより具体的に示すものであります。第2に、沖縄県内で展開されるスポーツの普及・発展を目指したものであり、県民に限らず広く県外や海外の人々も含め、それぞれのスポーツ享受を楽しく豊かなものにするを目的としています。第3に、〈するスポーツ〉、〈観るスポーツ〉、〈支えるスポーツ〉などのスポーツの多様な展開を通じてまちづくりや地域の活性化に寄与するという性格を持つとともに、スポーツ分野の産業振興や雇用創出を図るという性格を持つものです。

また、本計画は、スポーツ基本法の主旨を踏まえつつ、沖縄県のスポーツ振興について、県、市町村、学校、地域、民間企業等、本県のスポーツに関わるすべての人・団体が一体となって取り組むべき方向性を示すものです。

III 計画の期間

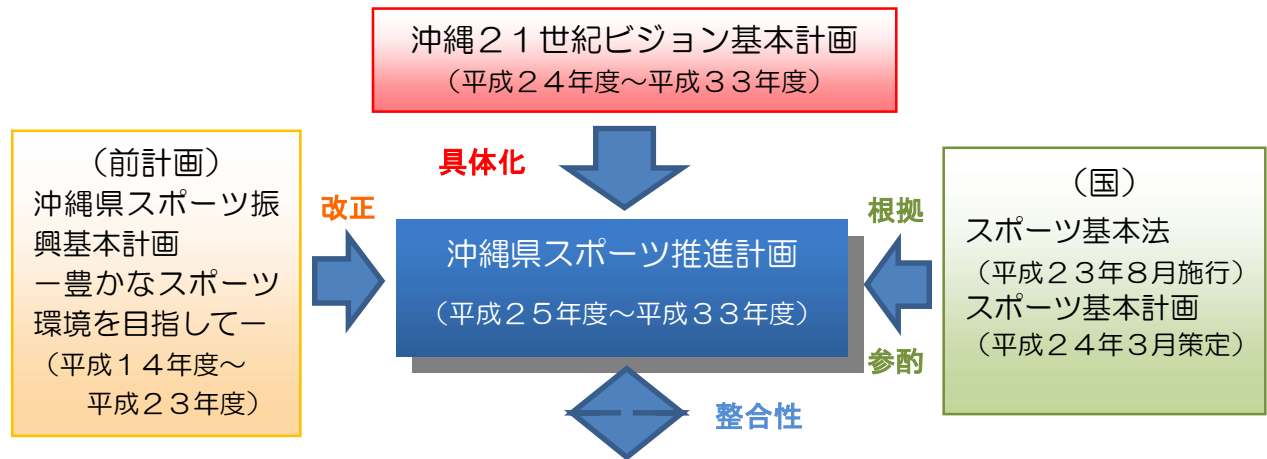
計画の期間は、平成25年度から平成33年度までの9年間です。

IV 計画の目標

本計画においては、本県の特性である地理的・自然的条件とスポーツ資源を有効に活かした、「スポーツアイランド沖縄」の形成とともに、国際的な沖縄観光ブランドの確立や世界との交流ネットワークの構築を目指すものです。

その過程では、子どもたちの豊かな心とたくましい体を育み、アスリートとしての能力を引き出し、感性を磨く人づくりや新産業の創出・産業のグローバル化を担う人材育成を図ります。また、県民が気軽にスポーツできる環境を整備します。

沖縄県スポーツ推進計画関連計画体系図



- ・沖縄21世紀ビジョン基本計画（平成24年度～平成33年度）
- ・沖縄県観光振興基本計画（平成24年度～平成33年度）
- ・沖縄県教育振興基本計画（平成24年度～平成33年度）
- ・第三次沖縄県生涯学習推進計画（平成24年度～平成33年度）
- ・健康おきなわ21（沖縄県健康増進計画）（平成22年度～平成29年度）
- ・第2次沖縄県食育推進計画（平成25年度～平成29年度）
- ・第3次沖縄県障害者基本計画～美らしま障害者プラン～（平成16年度～平成25年度）

V 計画の重点課題

【課題1】 スポーツの社会的価値の向上

～ライフステージに応じた生涯スポーツの定着とスポーツ文化の醸成～

- 子どもの体力・運動能力の向上 ○女性、障害者、中高年男性のスポーツ参加率の向上
- 総合型地域スポーツクラブ(以下、「総合型クラブ」という。)の普及と経済的自立への支援
- 地域の体育・スポーツ施設の整備拡充
- プロチーム・プロ選手によるスポーツクリニックの拡大
- 地域や学校におけるスポーツ環境の安全性の確保

【課題2】 スポーツの国際的価値の向上・全国的地位の向上

～国際競技力の向上とスポーツ国際交流の推進～

- ジュニアアスリート発掘育成制度と一貫指導システムの拡充
- スポーツ医・科学の成果を活用した県内トップアスリートの国際競技力の向上
- 国際スポーツイベントの招致・開催
- スポーツ専門高等教育機関の整備拡充と国際交流の推進

【課題3】 スポーツの経済的価値の向上

～産業としてのスポーツの活性化とスポーツ分野の雇用創出～

- スポーツクラブ運営に必要な多様かつ優秀な人材の確保・育成
- 地理的特性・自然条件を活かしたスポーツの普及及びスポーツ・ツーリズムの推進
- プロスポーツキャンプの拡大とスポーツ・ツーリズムの推進
- 地域密着型スポーツクラブへの支援
- プロスポーツや国際大会が開催可能なスポーツ施設の整備
- スポーツアイランド事務局(仮称)の設立

VI 目指す将来像ースポーツアイランド沖縄の将来イメージとはー

沖縄の目指す将来像の根幹は、沖縄のスポーツの力の可能性を最大限に引き出し、

「アジア、世界に開かれたスポーツアイランド」

として、アジア、世界の人々とのスポーツの交流を通じて、国際的なブランド価値を高めていくことが重要となります。

「沖縄21世紀ビジョン」の5つの将来像に照らし、県民が望む将来のイメージを示せば、以下のとおりです。

[将来像1] 沖縄らしい自然と歴史伝統、文化を大切にするスポーツアイランド

- 県外・海外からのスポーツ愛好家を含め、様々なスポーツを楽しむ若者や高齢者が増加
- マラソン、サイクリング、マリン・ビーチスポーツ等の愛好者が増加、大きな大会も開催
- 沖縄伝統空手道・古武道等の保存・継承・発展の取組が進展、体験ツーリズムや世界的普及も拡大
- 児童生徒が沖縄伝統空手道・古武道等の精神を理解、郷土文化への親しみや誇り等の保持が進展

[将来像2] 心豊かで、安全・安心に暮らせるスポーツアイランド

- 総合型クラブではメンバー各々がライフステージ、興味・目的等に応じてスポーツを楽しむ
- 子どもたちの基本的な生活習慣とバランスのよい食生活、適正な遊び・運動・スポーツが定着
- クラブでの様々なコミュニケーションを通じて親子や友人の絆、地域の連帯感等が深化
- スポーツボランティア活動は生きがいの機会と場を提供、行政との協働、地域社会に活力付与
- 学校体育施設の開放や公共スポーツ施設の整備により身近な施設でスポーツを楽しむ人が増加
- 託児室整備、バリアフリー化等により子ども、女性、高齢者、障害者のスポーツ享受が拡大

[将来像3] 希望と活力にあふれる豊かなスポーツアイランド

- バスケットボール、サッカー等の会場整備によりアウェイ・ツーリズムの観戦・観光客の増加
- 総合型クラブの競技力向上が進展、国民体育大会で男女総合順位も安定的に30位台確保
- 総合型クラブの指定管理者への進出等により自己財源の拡充化が進展、指導者等の雇用増加
- アジアのスポーツ・ツーリズムのメッカとしてのブランド価値が向上、幅広い人材雇用の増加
- 国際競技大会開催は沖縄のプロモーションの場を提供、スポーツ・ツーリズム等観光客の増加

[将来像4] 世界に開かれた交流と共生のスポーツアイランド

- プロスポーツのキャンプやオープン戦、ゴルフの大会等多種多様なスポーツイベントの開催が充実
- マリン・ビーチスポーツやマラソン、自転車競技等「するスポーツ」ツーリズムも豊富に存在
- プロチームのキャンプ中の地元との交流会やスポーツイベント開催中の運営研修会の開催が充実
- 沖縄伝統空手道・古武道の世界大会の開催や海外研修生の受入拡大などにより国際交流が進展
- スポーツコンベンションのスタッフやボランティア等の受入体制が充実
- アジアのジュニア世代の競技力の向上を目指す拠点として定着、スポーツによる国際交流が進展

[将来像5] 多様な能力を発揮し、未来に拓くスポーツアイランド

- 多志向の総合型クラブでは優れた素質を有するジュニアが一貫指導理念のもとで育成
- 学校体育の場でもジュニア発掘育成制度や一貫指導システムにより優秀なアスリートが増加
- 国際競技大会で活躍する本県選手が増加、県民に大きな夢、希望、元気を提供
- 本県出身トップアスリートやプロスポーツ選手が引退後に地元の総合型クラブの指導者に定着
- スポーツコミッション機能及びスポーツイベント主催機能の強化充実と専門的人材の養成が進展
- 国際競技大会やプロスポーツ仕様の施設、トップアスリート向けトレーニング施設の整備が進展
- 地理的・自然的特性を活かした海洋・水辺系スポーツのトレーニングセンター機能が充実

Ⅶ 基本施策と方向性

基本施策1 学校と地域における子どものスポーツ機会の充実

| 成果指標 | ○体力・運動能力テスト結果 | | |
|----------------|---|-------------|-------------|
| | 48.1点 (H23) | 49.1点 (H28) | 49.5点 (H33) |
| | 施策の方向性 | | |
| 子どもの体力・運動能力の向上 | <ul style="list-style-type: none"> ○栄養バランスに配慮した食生活の家庭への啓発と学校での推進 ○幼児期からの遊びや運動プログラムの充実 ○「がんじゅうアッププログラム」の普及と検証 ○特別支援教育における体力・運動能力の向上 | | |
| 学校体育の充実 | <ul style="list-style-type: none"> ○体育教科指導体制の整備と指導力の向上 ○生徒が興味を持って取り組める教科体育の充実 ○障害のある児童へのスポーツ教育支援 ○地域スポーツ団体との連携による運動部活動の適正化・活性化 ○体育・スポーツ施設の耐震化、バリアフリー化、グラウンドの芝生化等 | | |
| 地域のスポーツ環境の充実 | <ul style="list-style-type: none"> ○複数のスポーツ少年団を核とした総合型クラブの設立 ○学校と総合型クラブの連携・協力 ○スポーツ指導者の確保・育成 ○障害児のスポーツに対する指導者の確保や施設の改善 | | |

基本施策2 一人ひとりのライフステージに応じたスポーツ活動の推進

| 成果指標 | ○成人のスポーツ実施率 | | |
|------------------------|---|-----------|-----------|
| | 週1日以上 39.0% (H24) | 45% (H28) | 65% (H33) |
| | 週3日以上 17.7% (H24) | 20% (H28) | 30% (H33) |
| | 施策の方向性 | | |
| ライフステージに応じたスポーツ活動の推進 | <ul style="list-style-type: none"> ○多様なスポーツプログラムによるスポーツ実施率の向上 ○多様なライフステージに応じた参加プログラムの開発・普及 ○障害者のスポーツ環境の整備充実 ○スポーツ参加機会の創出 | | |
| スポーツ・レクリエーション等のイベントの充実 | <ul style="list-style-type: none"> ○生涯スポーツの柱としてスポーツ・レクリエーション祭の継続的实施 ○多様な参加方式の提供 ○地元メディアを活用したパブリシティの強化 ○障害者の参加できる種目の開催拡大 | | |
| スポーツボランティア活動の推進 | <ul style="list-style-type: none"> ○希望者を対象とした研修機会及び活動機会に関する情報提供の充実 ○ボランティア活動に参画できる環境の整備 ○ボランティア潜在需要層の開拓 ○ボランティアの顕彰 | | |
| スポーツにおける安全の確保 | <ul style="list-style-type: none"> ○スポーツ安全に関する研究成果の活用 ○「体育・スポーツ活動中の事故・熱中症の予防マニュアル」等の作成 ○事故・熱中症の予防研修の定期的開催 ○スポーツ安全保険等への加入促進 ○スポーツ施設等の安全対策の推進等 | | |

基本施策3 住民が主体的に参画する地域のスポーツ環境の整備

| | |
|--------------------------|--|
| 成果指標 | ○総合型クラブの設置率（41市町村） 63.4%（H24） 80%（H28） 100%（H33） ○総合型クラブ育成数（創設準備中も含む） 58クラブ（H24） 75クラブ（H28） 100クラブ（H33） |
| | 施策の方向性 |
| 総合型クラブの育成・支援 | ○NPO法人格の取得と会費設定の指導・支援 ○総合型クラブの自己財源確保への取組支援 ○総合型クラブ間交流の機会・場の創設 ○総合型クラブと学校の連携支援 ○「新しい公共」を担う総合型クラブの地域貢献活動に対する支援 |
| 地域のスポーツ指導者の育成（スポーツ推進委員等） | ○スポーツ指導者等の確保・活用促進 ○多様な専門の人材の確保・育成と需給マッチング機能の強化 ○クラブアドバイザー（仮称）等の養成 ○障害者のスポーツ指導員の育成と活用 ○スポーツ推進委員の資質向上と顕彰 |
| 地域スポーツ施設の充実 | ○公共スポーツ施設の整備等 ○スポーツ施設の安全性の確保・充実 ○既存施設の共同利用の促進 |
| 地域スポーツと企業・大学との連携 | ○大学の総合型クラブ創設に対する支援 ○大学等の総合型クラブ育成等地域貢献活動に対する支援 ○大学等のスポーツに関する地域貢献活動の促進 |

基本施策4 トップスポーツを目指す競技力の向上に向けたスポーツ環境の整備

| | |
|-------------------------------------|---|
| 成果指標 | ○国民体育大会男女総合順位 42位（H24） 30位台後半（H28） 30位台前半（H33） |
| | 施策の方向性 |
| 選手の育成強化及び指導者養成（国体選手強化、障害者トップアスリート等） | ○優れた資質を有する競技者に対する組織的、計画的な育成 ○競技力向上推進体制の強化 ○優秀な指導者の確保、養成 ○国際競技大会・国民体育大会の出場選手の強化支援 |
| ジュニアアスリートの発掘・育成 | ○ジュニアアスリートの発掘と一貫指導システムの推進 ○プロスポーツ選手やトップアスリート等との交流機会の拡充 ○ジュニア世代の国際スポーツ交流の推進 |
| スポーツ医・科学委員会の活用 | ○スポーツ医・科学委員会サポートプログラムの活用の仕組み創出 ○スポーツ医・科学サポートの充実・強化 ○トップアスリート向けスポーツ科学トレーニング施設の整備 ○海洋・水辺系競技のナショナル・トレーニング・センターの誘致 ○ドーピング防止教育・啓発活動の充実 |

基本施策5 トップスポーツと地域におけるスポーツとの連携・協働の推進

| | |
|---------------------------------------|--|
| 成果 指標 | ○トップアスリート指導者を活用する総合型クラブの割合 29.7% (H24) 40% (H28) 50% (H33) |
| | ○プロスポーツチームのスポーツクリニック等の開催件数 90件 (H23) 100件 (H28) 120件 (H33) |
| | 施策の方向性 |
| 総合型クラブ等における トップアスリートとの連 携・協働の推進 | ○地域スポーツにおけるトップアスリートの活用 ○地域における循環型の指導者育成と活用 ○武道等必修の指導者としてのトップアスリート等の活用 |
| 地域密着型プロスポーツ の支援と交流(県内プロチ ーム) | ○地域密着型プロスポーツの役割と意義の啓発及び良好な関係の構築 ○プロチームの指導者及びトッププレイヤーの活用 ○プロスポーツの地域貢献評価及び活用 |
| 地域スポーツと企業及び 大学等との連携 | ○プロスポーツクラブによる総合型クラブの設立・運営支援 ○競技指向型地域スポーツクラブの育成・支援等 ○トップアスリートの就職活動支援 |

基本施策6 スポーツを活用した地域活性化の推進

| | |
|--|--|
| 成果 指標 | ○スポーツコンベンションの開催件数 460件 (H22) 510件 (H28) 600件 (H33) |
| | ○スポーツアイランド事務局(仮称)の設立 |
| | 施策の方向性 |
| スポーツ・ツーリズムの推 進(スポーツアイランド事 務局(仮称)の活用) | ○スポーツ・ツーリズムに係る積極的な誘致及び広報活動の展開 ○スポーツアイランド事務局(仮称)を活用した受入体制の整備 ○スポーツ・ツーリズムを推進する着地型スポーツイベントの支援 ○スポーツ・ツーリズム推進のための人材育成及び施設整備の推進 |
| スポーツコンベンション の誘致、開催 | ○スポーツコンベンションの誘致戦略の立案 ○プロスポーツ公式戦の誘致、開催 ○アジア大会をはじめとする国際競技大会の誘致対象としての分析 ○障害者スポーツの全国的大会・九州大会の誘致・開催 ○アジアのジュニア世代の育成等 |
| スポーツアイランド事務 局(仮称)の設立 | ○スポーツアイランド事務局(仮称)の設立 ○スポーツマッチング機能と情報ネットワークの整備 ○スポーツコンベンション誘致及びスポーツイベント主催機能の整備 |

基本施策7 地域のスポーツ資源を活かした特色あるスポーツの推進

| | |
|-------------------------------------|--|
| | 施策の方向性 |
| 地域密着型スポーツチ ームの支援と交流 | ○スポーツエンターテイメントとしての施設の整備と利用 ○アウェイ・ツーリズムの推進 ○トップアスリートの活用 |
| 地域の伝統的スポーツの 普及(沖縄伝統空手道・古 武道等) | ○沖縄伝統空手道・古武道における普及・啓発活動の推進 ○沖縄伝統空手道・古武道を活かしたスポーツ・ツーリズムの推進 ○本県の伝統歴史を活かした教科体育の推進 |
| 地理的・自然的特性を活か したスポーツの推進 | ○マリンスポーツ等の振興 ○全国大会の誘致 ○海洋性競技の拠点整備の促進 |

編集・発行

沖縄県文化観光スポーツ部スポーツ振興課
〒900-8570 沖縄県那覇市泉崎 1-2-2
TEL : 098-866-2708 FAX : 098-866-2729
E-mail : aa082200@pref.okinawa.lg.jp
<http://www.pref.okinawa.lg.jp/site/bunka-sports/sports/index.html>
